



## 「2009年3月期決算説明会概要」について

5月20日(火)、(株)TBSホールディングスの「2009年3月期 決算説明会」が行われました。概要は以下のとおりです。

出席者:代表取締役社長 財津敬三  
専務取締役 平本和生  
TBS テレビ代表取締役社長 石原俊爾  
TBS テレビ取締役 武田信二  
参加者:およそ 130 名

### <2009年3月期業績> 財津社長

当期の業績は増収・営業減益。今年の2月に当期の業績予想を修正発表したが、映画の「おくりびと」やDVD「魔王」の大ヒットなどにより、売上高、営業利益とも、この時期の修正予想を上回った。しかし、内外の景気後退と企業の広告・宣伝費の抑制などにより、放送事業が伸び悩んだことや、株価の低迷に伴う会計上の処理などにより期首計画には及ばない残念な結果となった。この結果を大変厳しく受け止め、この3月期の役員賞与はゼロとし、来期(来年の3月期)においても役員賞与の計上は予定していない。また、昨年7月から継続している役員報酬のカットについても、この7月から更に大幅なカット予定だ。

### <2010年3月期の業績予想ほか>

2009年度の広告市況は、更に厳しさを増すものと思われる。こうした状況を受けて、番組制作費を中心に大幅な費用の削減を図る予定だが、放送収入の大幅な落ち込みをカバーするにはいたらず、連結売上高は3,615億円で2.9%の減収、営業利益は70億円、62.1%の減益を予想している。一方、当期純利益は22億円で32.9%の増益と予想している。当期純利益が増益予想となっているのは、当期にあった投資有価証券評価損の反動によるものだ。

これまでは個別当期純利益の20%を目安に1株当たり10円を下限とした年間配当を実施してきたが、持株会社化に伴い、業績連動の特性をより明確にするため、今後は、目処とする配当性向を連結当期純利益の30%に引き上げ、配当額の下限は設けないこととした。なお、特殊な要因で当期純利益が大きく変動した場合はその影響を考慮して、配当額を決定する。

## <連結・損益計算書> 平本専務

連結売上高は 3,723 億 6 百万円で前期より 571 億円の増収だった。TBS単体の外部売上は減収だが、TCエンタテインメント、グランマルシェなどが増収だったことに加え、スタイリングライフ・グループの売上高 567 億円が加わった結果、大幅な増収となった。営業利益は 21 億円の減益、経常利益は 31 億円の減益、当期純利益は、投資有価証券評価損を計上したこと等により 173 億円の減益。

## <視聴率状況、編成方針ほか> TBSテレビ石原社長

2008 年度の視聴率状況は、全日帯 4 位、ゴールデン帯 5 位、プライム帯 5 位と大変厳しい結果となった。現在、番組の強化策を実施し、全社一丸となって上位を目指しているところだ。2008 年度を総括すると、『ROOKIES』、『Around40』、『流星の絆』など社会的にも話題となるヒットドラマを送り出し、バラエティ番組では、『ぴったんこカンカン』を始め、『金曜日のスマたちへ』『東京フレンドパークⅡ』が安定した視聴率を獲得した。3 月には WBC・ワールドベースボールクラシックのアメリカラウンドを放送し、驚異的な視聴率を獲得。改めて地上波テレビの媒体価値の高さを再認識した。こうした特筆すべき番組もあったが、全体としては水曜日の各番組が苦戦し、視聴率を下げる結果となった。

こうした状況をふまえ、この 4 月編成では、大胆な改編を行った。残念ながら、現段階では新しいタイムテーブルがまだ十分に浸透しておらず視聴率は苦戦しているが、視聴習慣が定着するまでには、ある程度の時間が必要なので、今は生みの苦しみの段階だと考えている。改編の目玉である『総力報道！ THE NEWS』は、二桁の視聴率が出ている地域もあり、徐々に定着してきつつあると手ごたえを感じている。20 時以降の各番組についても、企画変更も含め、現在強化策を講じているところだ。今後、強力なドラマをラインナップするなど、全力を挙げて視聴率の底上げを図っているところだ。今週土曜日 20 時から、木村拓哉さん主演の連続ドラマ『MR. BRAIN』がスタート。また 7 月のドラマでは、日曜劇場の枠で城山三郎さん原作、佐藤浩市さん主演の『官僚たちの夏』を予定している。『華麗なる一族』に続く、TBSならではの大型ドラマなので、ご期待いただきたい。

日本の映画としては始めてアカデミー賞「外国語映画賞」を受賞した「おくりびと」などで好調な映画事業だが、4 月公開の「クローズ ZERO Ⅱ」は順調に推移、興収は 30 億円を超える勢い。5 月公開の「余命一ヶ月の花嫁」も週末興行ランキング 1 位と大変好調なスタートを切った。5 月 30 日公開の「ROOKIES～卒業」の前売り状況も「花より男子ファイナル」を上回る勢いで大ヒットが期待される。

以上